

K		491001		
K		担当部署		
K		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		緊急対応(24 時間)		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		溶血による影響を受ける為、採血時に注意が必要。		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 他材料	10 青	分離剤	8	mL
3 新鮮尿	23 スピッツ	なし	10	mL
4 蓄尿	22 蓄尿	防腐剤、尿量インジゲーター	10	mL
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
<b>検査結果・報告</b>				

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		3.6-4.8mmol/L(血清) 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位 mmol/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
3.6	4.8	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	6mmol/L			
	低値	2.5mmol/L			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		ナトリウム(Na)およびカリウム(K)代謝異常は臨床の場でしばしば遭遇する水・電解質異常であるが、原因となる基礎疾患は多彩で特異性は認められないため、病状を正確に把握し、的確な治療方針を決定するには、血清及び尿中 Na,K 濃度測定が不可欠である。 日本臨床第 7 版 260,2009			